

# エピソード24

## 子どもが朝ごはんを 食べてきません。



なみちゃん

小学校教師として25年以上の経験が  
あります。  
エデュサポネットのファシリテーターです。



小学校で、学級担任をしていた時の  
経験をお聞きします。

ゆうた君は4人兄弟です。お母さんが一人で  
子育てをしていましたが、精神的に不安定で、  
子育てに難しさがある家庭でした。

ゆうた君は、朝ご飯を食べずに学校に来て、  
お腹がすいているため、落ち着いて  
学習に向かえないこともありました。





ゆうた君の学校での様子はどうでしたか。

気持ちが不安定で、ちょっとしたことでも  
カッとなって、ケンカが始まりました。

夜遅くまで起きているので朝起きられず、  
お母さんも起こさず、遅刻も多かったです。





先生はそんなゆうた君に、  
どんな声をかけていたのですか。

朝起きたらお腹がすいているだろうと思い  
「とにかく、給食を食べに来るだけでも  
いいから、学校においで」と言いました。

それで、お昼ちょっと前に登校して、  
給食を食べる、という状態になりました。





ゆうた君のお母さんの  
様子はどうでしたか。

ゆうた君が、家でもカッとなって暴力を  
ふるうのでとても心配していました。

お母さんは、子育てについて悩んでいて、  
学校にも頻繁に相談に来ていました。





お母さんやゆうた君には、  
どんな支援が必要だと考えましたか。

お母さんにスクールカウンセラーを  
紹介し、相談の対応をしてもらいました。

教育センターにも相談し、ゆうた君は  
通級指導教室に通うことになりました。





先生からお母さんへは、  
どんな支援をしたのですか。

お母さんに、寝るとか食べるなどの基本的  
な生活欲求が満たされないと、子どもは  
頑張る気持ちになれないことを話しました。

決まった時間に寝て、起きて、ご飯は朝晩  
ちゃんと食べさせて…と丁寧に話しました。



※SSW=スクールソーシャルワーカー



社会生活面での支援はどうでしたか。  
ゆうた君に変化はありましたか。

生活保護を受けていましたが、お母さんは  
金銭管理が難しかったので、SSWに相談し、  
給食費などを生活保護のお金から、直接  
学校に入金するよう手続きを取りました。

生活が落ち着いてくると、ゆうた君は  
以前より穏やかに生活できるようになり、  
学校にもきちんと登校しています。





## なみちゃんの一言

- 子どもが安心して生活するためには、家庭生活が安定していることが何より大切なのですね。基本的な生活が保障されることで、心身ともに安定できるのです。
- そのために学校には、さまざまな関係機関と連携して、家庭や子どもを見守っていくことが求められています。

お・し・ま・い



イラスト 尾上樹里  
(北海道教育大学 大学院生)